

「mruby/c 2.1」を公開

IoT デバイス向け開発言語として、プログラミング言語「Ruby」の機能を網羅



島根県松江市学園南 1-2-1 くびきメッセ 4F

公益財団法人しまね産業振興財団

しまねソフト研究開発センター

(担当：徳田・渡部)

連絡先：0852-61-2225

Email：itoc@s-itoc.jp

しまねソフト研究開発センター（以下、「ITOC」）と国立大学法人九州工業大学が共同研究開発を行っている IoT デバイス向け組み込みプログラミング言語「mruby/c」について、現在の mruby/c 2.0 からバージョンアップした mruby/c 2.1 を公開しました。

mruby/c 2.1 では、例外処理、ブロックの機能が加わります。例外処理により、プログラムの多くの部分をエラー処理に費やす必要がなくなり、簡潔に意図どおり表現することが可能となります。また、ブロックの機能により、より簡潔に繰り返し処理を記述することが可能となります。加えて、多くのバグ修正を行いました。

今後は、更なる開発に取り組むとともに、「mruby/c」を広く紹介し、関心を持つ県内企業との共同研究などを進めていくことで、県内企業の競争力強化につながる取り組みを行ってまいります。

mruby/c ver2.1 公開 URL

<https://github.com/mruby/mruby/releases/tag/release2.1>

主な機能追加

- 例外処理を実装
- ブロックの処理を実装
- メソッドへの引数受け渡し種類を必須引数のほかに初期値付き引数、配列で取得、dictionary 引数に対応

mruby/c とは？

Ruby の特徴である開發生産性の高さを引き継ぎつつ、プログラム実行時に必要なメモリ消費量が従来の mruby（組み込み向け軽量 Ruby）より少ないソフトウェアの開発言語です。センサーネットワークや、ウェアラブルなどの小型端末に向けたソフトウェア開発に向いています。